

2018年2月期 決算説明会



マックスバリュ中部株式会社

2018年4月11日

I. 決算ハイライト

II. 2017年度取り組み概要

III. 2018年度方針／主要施策

IV. 2018年度業績予想

I. 決算ハイライト

II. 2017年度取り組み概要

III. 2018年度方針／主要施策

IV. 2018年度業績予想

連結業績結果(年度合計)



営業収益は過去最高を更新
営業総利益の伸びを経費の伸びが上回り減益

(単位：百万円)

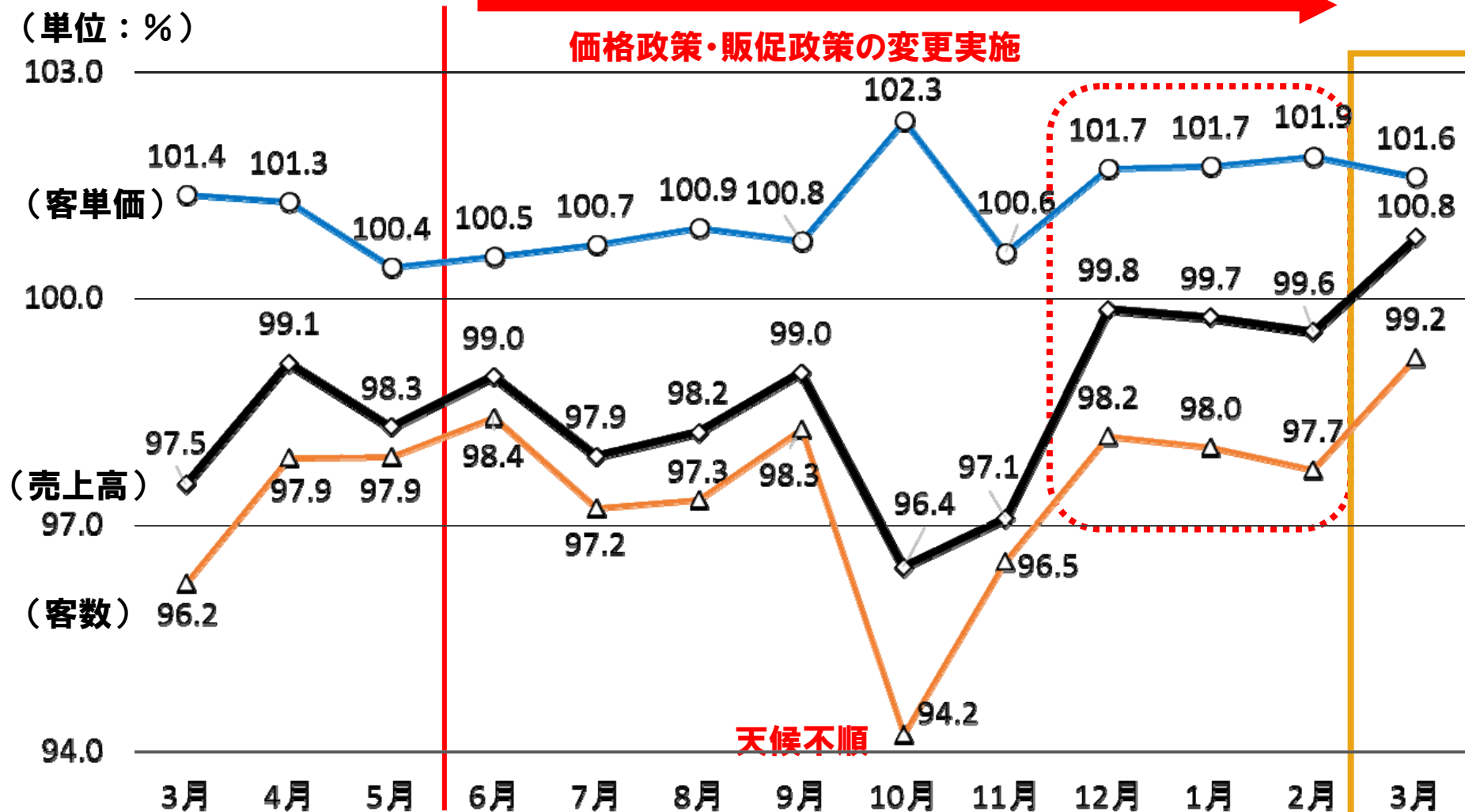
科目	2017年度			
	実績	売上比	昨年比	公表比
営業収益	178,347	102.6%	100.5%	97.8%
売上高	173,848	100.0%	100.6%	-
営業利益	3,433	2.0%	84.1%	78.0%
経常利益	3,128	1.8%	75.4%	70.6%
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,713	1.0%	84.2%	81.6%

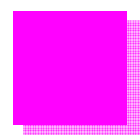


既存店売上高・客数・客単価(昨年比)の推移



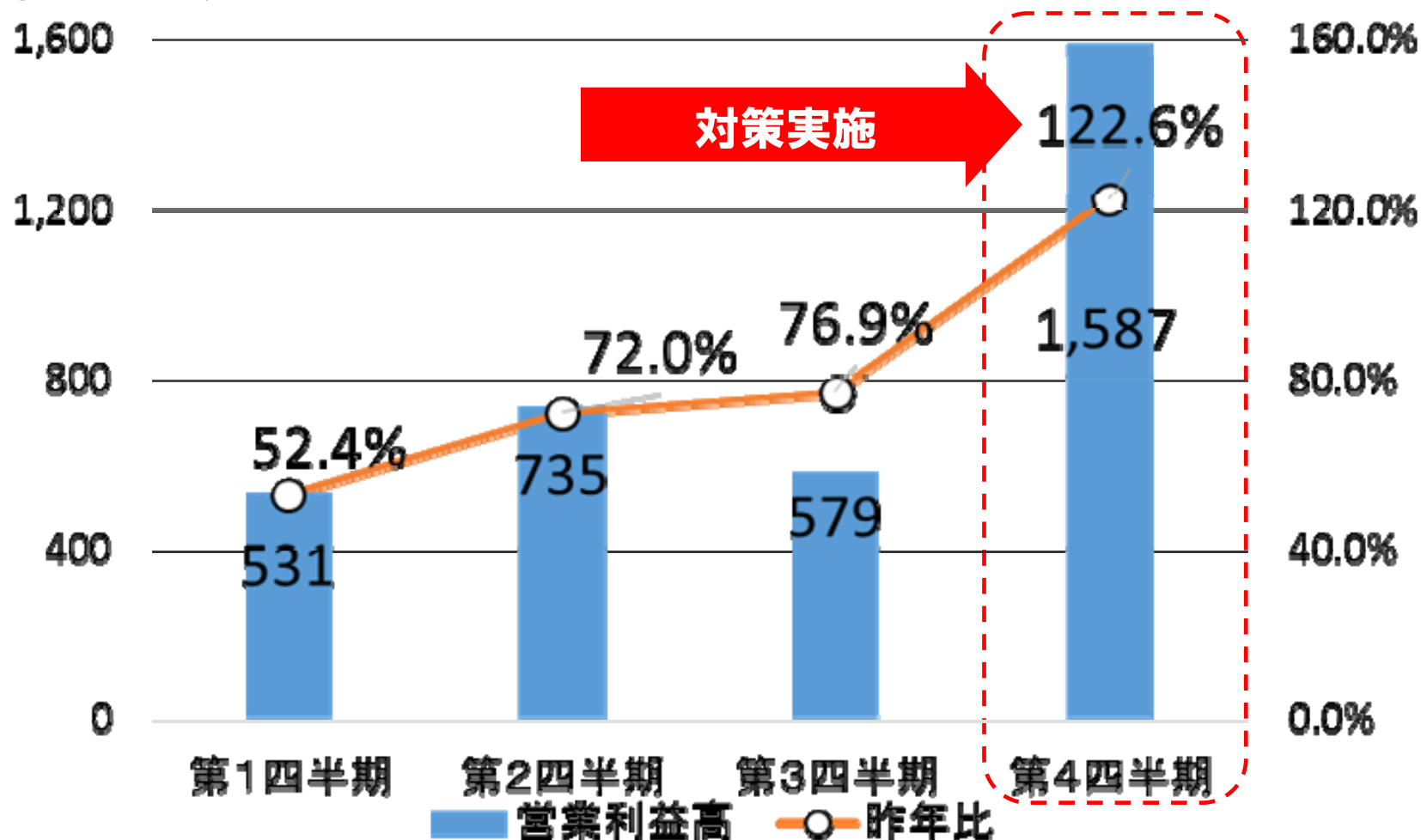
競争激化に伴い、下期客数が減少し既存店売上高ダウン
 対策実施により第4四半期トレンドが回復

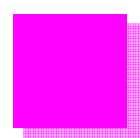




第4四半期、業績回復し、営業利益高昨年比122.6%

(単位：百万円)



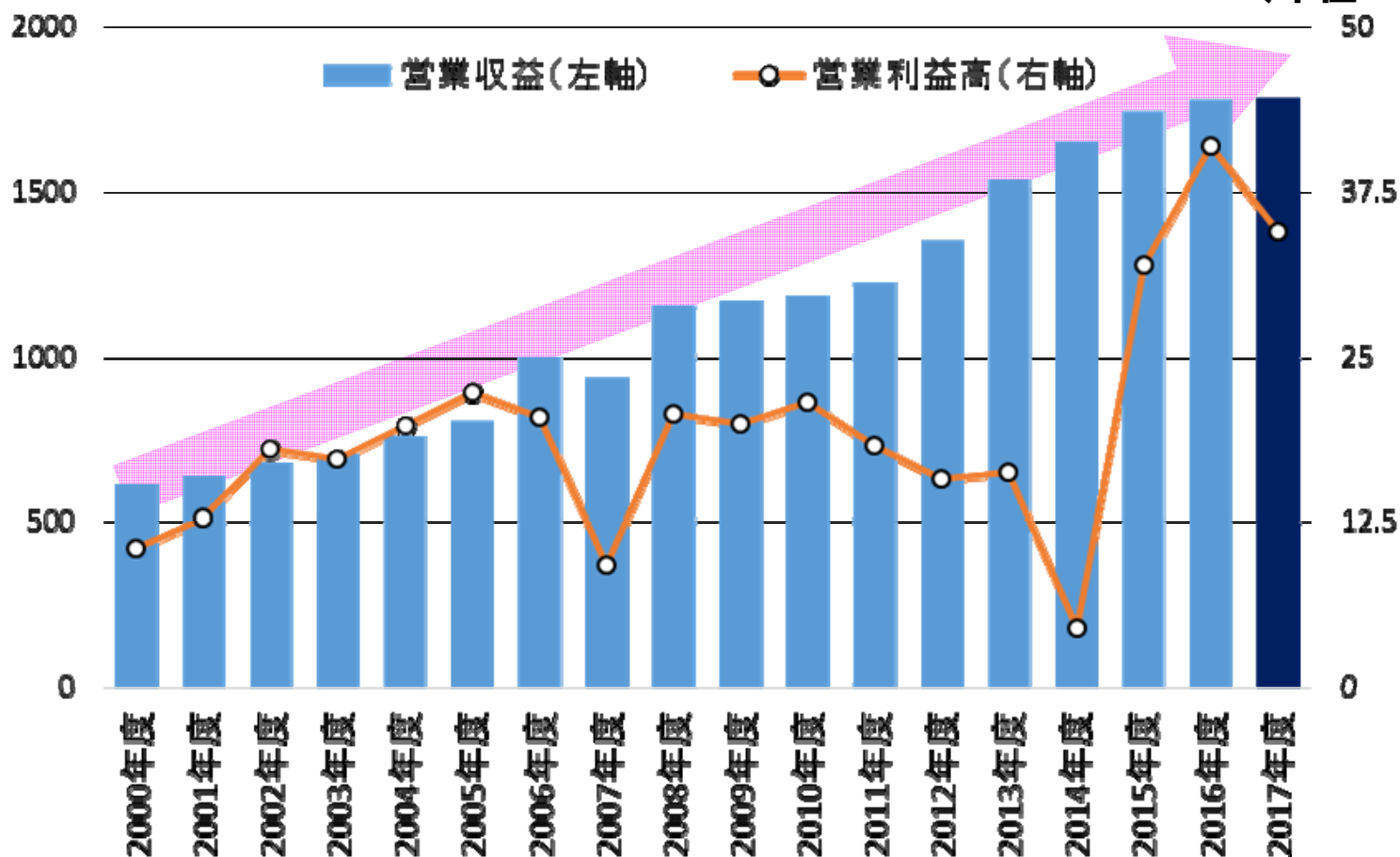


10期連続増収を達成

長期トレンドでは2017年度減益も右肩上がりで成長

(単位：億円)

(単位：億円)



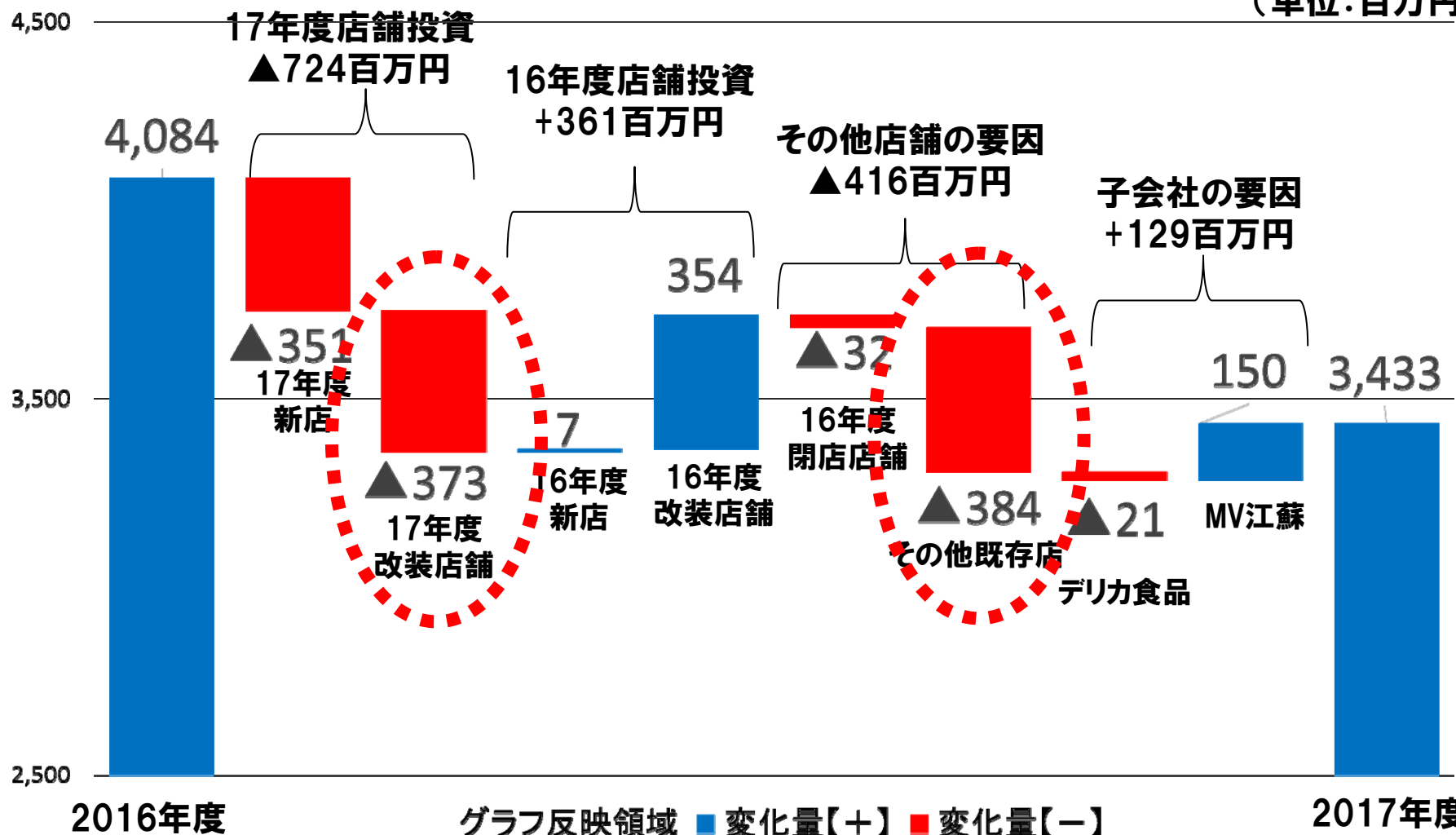
(※決算期変更に伴い2007年度は10ヶ月決算。2012年度は13ヶ月決算となります)

営業利益の増減要因(連結)

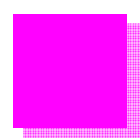


**新店2年目、活性化2年目での昨年改善率が低下
既存店の売上が減少し、損益悪化**

(単位:百万円)

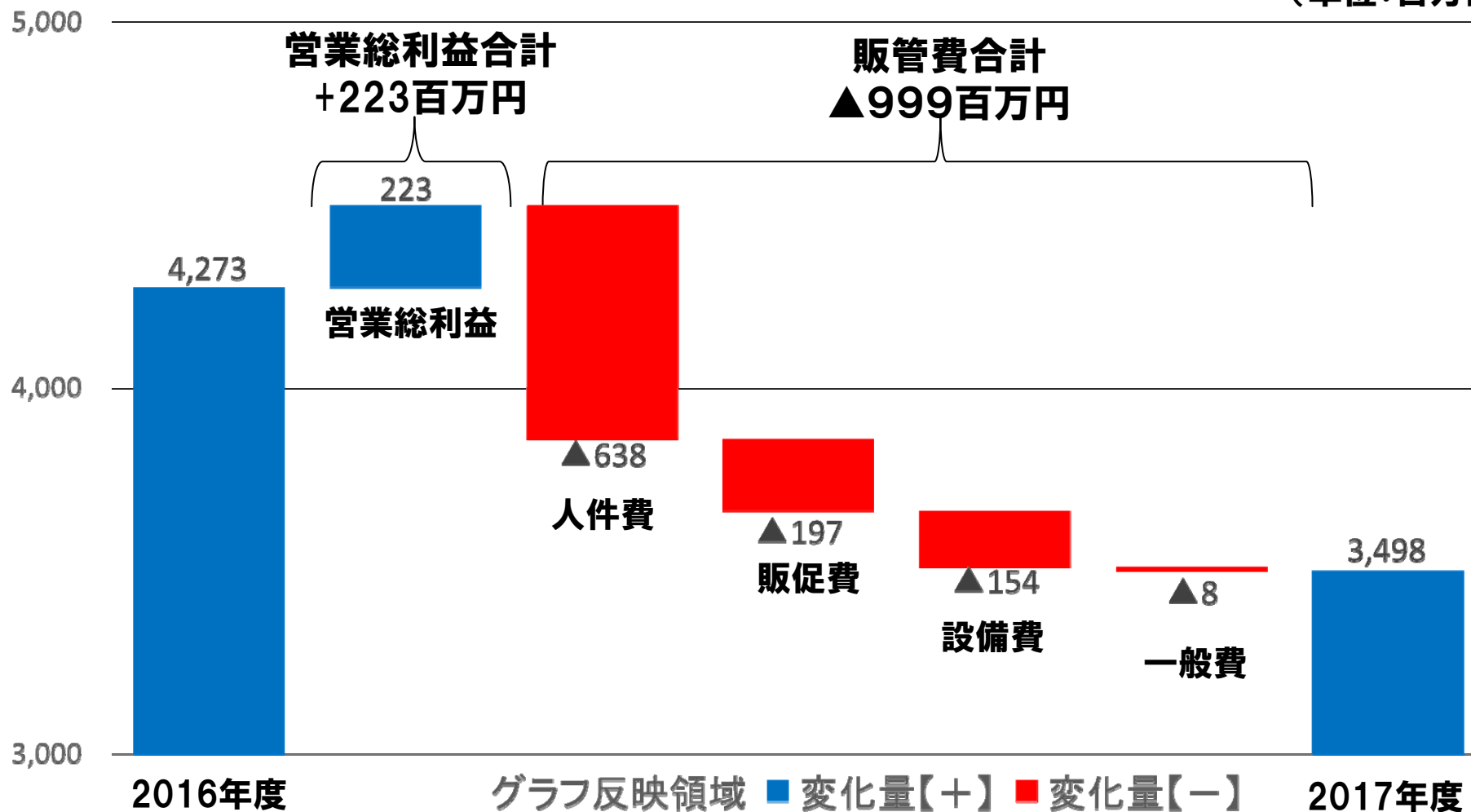


営業利益の増減要因(個別)

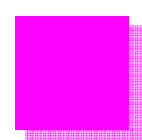


営業総利益の伸びに対して特に人件費の伸びが影響
人的投資で営業総利益上げる計画が未達

(単位:百万円)



設備投資の状況



**新規出店4店舗、改装16店舗、LED・システム投資等実施
新規出店を主に、成長を支える設備投資を継続実施**

(単位:百万円)

科目	2017年度実績	2016年度実績	昨年比
新規出店	1,137	715	159.0%
改装	687	678	101.3%
物流	0	218	-
その他 (LED、システム等)	240	294	81.6%
合計	2,065	1,905	108.3%

(※土地を除く)

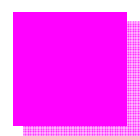
I. 決算ハイライト

II. 2017年度取り組み概要

III. 2018年度方針／主要施策

IV. 2018年度業績予想

成長のエンジン(新規出店)



重点エリアへの出店拡大 エリアシェアNo. 1の実現 売上高計画比102%を達成

マックスバリュ名張西店



2017年9月 (三重県名張市)

マックスバリュ志段味店

マックスバリュ
エクスプレス天白原店



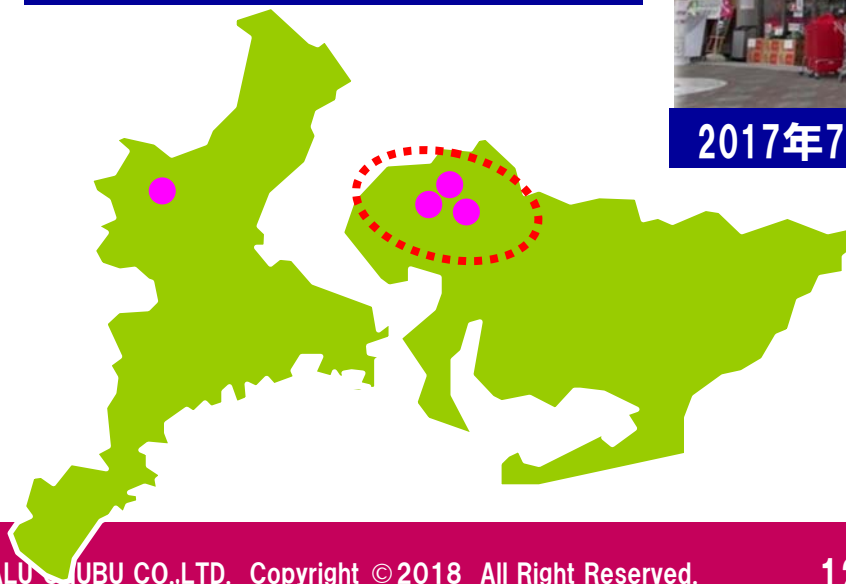
2017年3月 (名古屋市守山区)

2017年7月 (名古屋市天白区)

マックスバリュ扶桑店



2017年7月 (愛知県扶桑町)



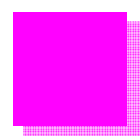
**改装による売上アップ効果が昨年よりも3%下落
計画比97%と計画未達成**

- 競争環境変化への対応の遅れ
- お客さまの変化への対応不足



- 下期以降、店舗、改装内容見直し
- 改装効果の高い店舗へ資源集中

	店舗数	売上高昨年比	客数昨年比
10百万円以下	2店舗	100.4%	98.5%
~50百万円以下	9店舗	100.9%	99.5%
50百万円超	5店舗	102.8%	99.4%
合計	16店舗	101.6%	99.4%



生鮮構成比は昨年度より改善も計画未達成
旬・鮮度・おいしさにこだわった新規商品の開発力が課題



週末牛肉重点販売

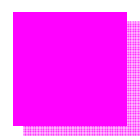


新規カテゴリー導入



新規商品開発

	食品内構成比	昨年差	計画差
農産	12.8%	-0.1	-0.0
水産	6.7%	-0.1	-0.0
畜産	9.0%	0.2	-0.0
デリカ	10.9%	0.2	-0.1
合計	39.4%	0.2	-0.2



価格優位性の発揮 WAONPOINT販促の実施



週間・月間での価格訴求



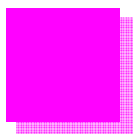
ポイントセールスと
名物企画の実施

I. 決算ハイライト

II. 2017年度取り組み概要

III. 2018年度方針／主要施策

IV. 2018年度業績予想



成長を支えるインフラ投資へのシフト

2018年度計画		投資金額	昨年比
成長投資	新規出店	18億円	158%
	既存店改装	12億円	175%
インフラ投資	教育関連 (現場教育)	3億円 (2億円)	182%
	物流関連投資	1億円	-
	IT投資等	6億円	250%

- 提供価値の増大
 - ・よりおいしい商品
 - ・より安い商品
 - ・より安全な商品
 - ・より鮮度の良い商品
 - ・より便利な買物環境

- 生産性の向上
 - ・人手不足対応
 - ・ダイバーシティ経営



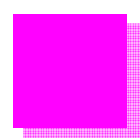
商圈特性に合わせた新規出店によるエリアシェアアップ

県名	2018年度下期予定
滋賀県	マックスバリュ大津月輪店
愛知県	ザ・ビッグ エクスプレス南陽店

中国事業
2018年4月
3号店の出店を予定

※その他小型店舗の出店を3店舗程度計画





フラッグシップ店舗の超大型改装実施計画

既存店舗へエッセンスを導入し、改装店舗売上高5%底上げ

	上期	下期	年間
10百万円以下	5	5	10
~50百万円以下	5	2	7
50百万円超	5	2	7
合計	15	9	24



マックスバリュ グランド
千種若宮大通店 (投資: 3.5億円)

マックスバリュ グランド千種若宮大通店取り組み計画



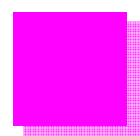
店内加工のカットフルーツ



こだわり商品の品揃え拡大



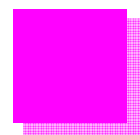
メインディッシュのご提供



プロセスセンターによるインストア作業代行 直営パン工場商品供給による差別化

	目的	出荷金額
デリカ食品大口工場	・惣菜、寿司の全店供給商品の製造	32億円
北勢PC	・インストア作業代行 ・全店供給商品の製造	16億円
福船PC	・インストア作業代行	3億円
キャナルベーカリー	・粉から練り上げたおいしいパンの供給	2億円





PB/トップバリュとNBの2軸による“価値ある安さ”の提供

ブランド	売上高昨年比	構成比
	303.2%	5.0%
	89.5%	9.8%
	121.9%	1.7%
	119.5%	0.2%
合計	118.0%	16.7%

●月間目標金額
3億円
150アイテム

2018年度目標	構成比
デイリー	5.0%
グロサリー	8.0%
ハンフーズ	3.0%

地産地消のローカルブランドの発掘と拡販 地域と連携した新規商品開発

	計画
地産地消売場拡大	売上高昨年比105%
地元大学との共同開発	500千円/1商品当り



地域連携

地元大学生による共同開発弁当

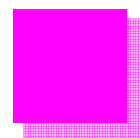
ローカル
ブランド



地産地消



地域に親しんだ味の提供



地域に根ざしたパート社員の戦力化による 地域密着の店舗運営の実現

ローカル
マーケティング

接客技術向上



チェッカーコンテストの開催



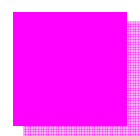
パートナー社員による改善活動
(おもてなし委員会)

商品知識習得



ちゃんごはんセミナー

リアル店舗にしか出来ない 地域のお客さまと 地域のパート社員の 繋がり



お客さまの多様化する生活パターンに対応するサービス お客さまの利便性を向上

- ネットスーパー3店舗新規開始で9店舗
- 料金収納代行サービス
- 即日宅配サービス



ネットスーパー 笹川店

新規会員さま
募集中

初回購入キャンペーン実施中!

キャンペーン対象
2018年4月30日(月・祝)ご配送分まで

※マックス(旧)笹川店のネットスーパーで初めてご購入いただいた方に
限定させていただきます。2回以前のご購入は対象外です。

<p>特典1 通常送料1回324円(税込)のところ 送料無料! ※700円(税込)以上お買い上げの方が対象となります。</p> <p>特典2 300 WAON POINT プレゼント!</p> <p>特典3 トップリュボックスティッシュプレゼント! (1箱300枚入り) ※1,500円(税込)以上お買い上げの方が対象となります。 ※写真はイメージです</p>	<p>こちらは期間中 何度でも!</p>
---	--------------------------

➤ 新規取り組み・・・店頭受け取りサービスの実施



スマホ等で注文

商品をプロの目で選定

商品をパッキング

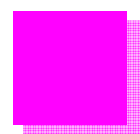
専用ロッカーで受取

I. 決算ハイライト

II. 2017年度取り組み概要

III. 2018年度方針／主要施策

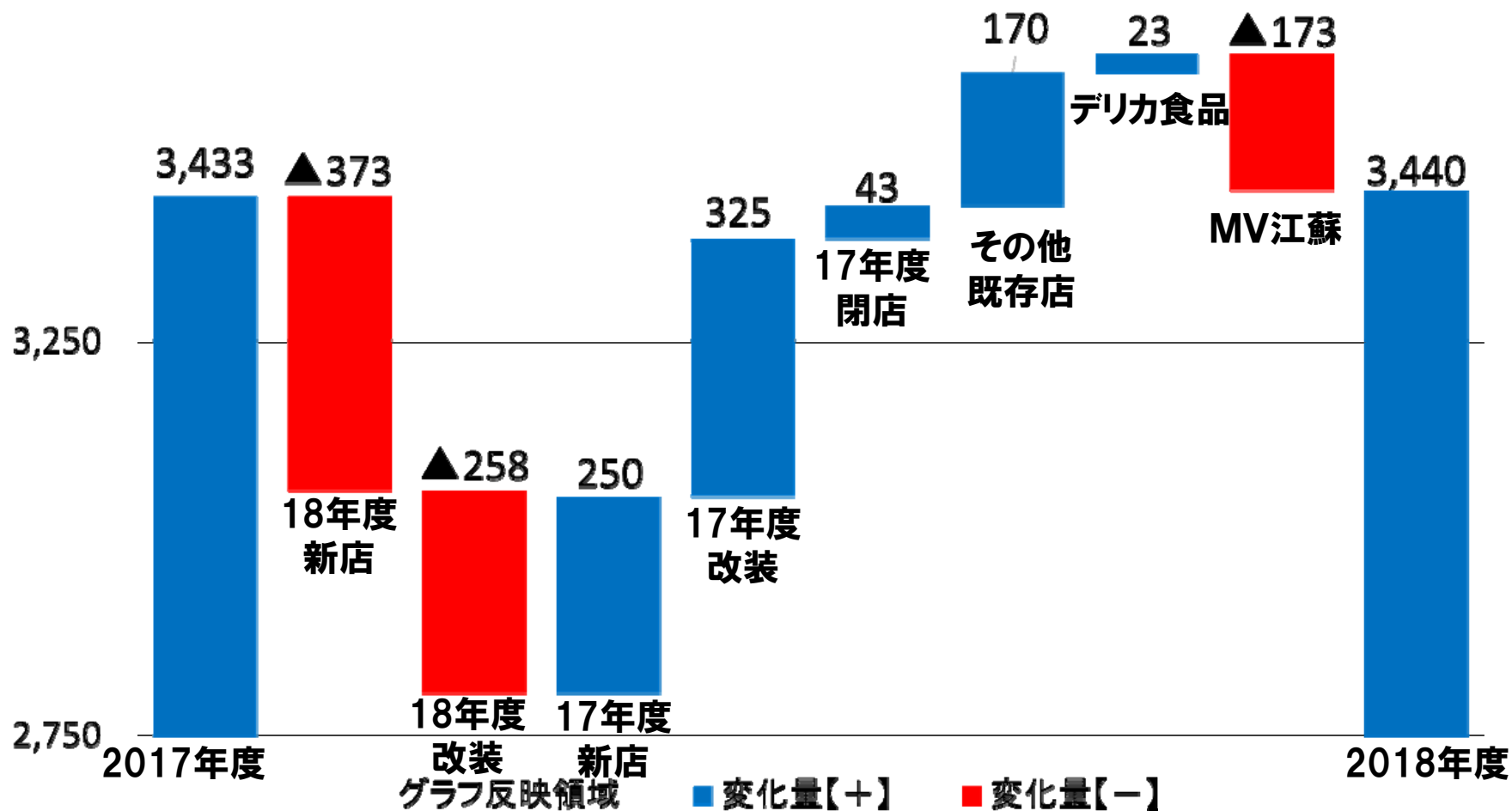
IV. 2018年度業績予想



国内設備投資、中国3号店出店に伴う投資増加

(単位:百万円)

3,750



2019年2月期連結業績予想



	連結業績見通し	
	通期	昨年比・(差)
営業収益	180,000百万円	100.9%
営業利益	3,440百万円	(6百万円)
経常利益	3,480百万円	(351百万円)
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,760百万円	(46百万円)
1株当り当期純利益	55.92円	(1.70円)
次期の1株当たり配当金	14円	—



本資料に記載されている業績見通し、事業計画、目標等の将来に関する事項は、当社が本資料作成時点で入手可能な情報に基づき、一定の仮定をおいたもの、もしくは判断した見込みであります。

これらの仮定及び判断については、潜在的风险や不確実性を含んでおり、実際の業績または展開が異なる可能性があります。